

(別紙様式)

(A3判横)

# 平成27年度 学校自己評価システムシート ( 県立浦和西高等学校 )

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会で貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校を目指す。
--------	--

重点目標	1 第一志望を実現するための質の高い授業の実践 2 地域に信頼され貢献できる生徒の育成 3 自ら考え行動できる生徒の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	毎年、難関大学等へ挑戦する生徒が増え、実績を着実に伸ばしてきている。さらに、生徒の第一志望が実現できるよう、質の高い授業の実践が必要である。	高い志を育成し、第一志望を最後までゆずらない生徒を育成する。また、生徒一人ひとりの進路希望を実現するために、質の高い授業を実践する。	1 志を高め、第一志望を実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学出張講座の開催、サイエンスアカデミー事業への参加</li> <li>進路情報の積極的な提供、進路相談や個別面談等の実施によるきめの細かい進路指導</li> <li>大学入試センター試験等への組織的な取組</li> <li>校長による3年生全員面接</li> </ul> 2 質の高い授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業力向上プログラムを活用し、生徒による授業評価アンケートに基づいた授業改善</li> <li>西高 CAN-DO リスト(到達度目標)を活用し、自ら考えることのできる生徒の育成</li> <li>ビブリオバトルの実施を通して、読書量の増加、プレゼンテーション能力の向上</li> </ul>	1 第一志望実現状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学、難関私立大学挑戦者10%増</li> <li>国公立大学現役合格者数50名以上</li> <li>大学入試センター試験得点率平均70%以上(5教科7科目受験者)</li> </ul> 2 授業改善状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートによる授業満足度80%以上</li> <li>西高 CAN-DO リスト達成率80%以上</li> <li>貸出図書数増</li> </ul>	1 国公立大・難関私立大を希望する生徒が増加している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>大学出張講座は9講座を開講。新たに1学年で大学生出張講座も実施。サイエンスアカデミーは全5回実施。</li> <li>国公立大現役合格者数は4名(12月現在)→46名(3月22日現在)</li> <li>センター試験は98%が受験(過去最高)。5教科7科目受験者は約30%で、平均得点率70%には若干及ばなかった。</li> <li>2 授業評価アンケート・西高 CAN-DO リストの活用、授業相互見学・教科会の活性化により、授業改善が進み、授業の質が向上している。</li> <li>授業評価アンケートにおける授業満足度は、85.1%(昨年度80.9%)。西高 CAN-DO リストの達成率は69.6%(12月)。3学期末に80%以上を予定。</li> <li>ビブリオバトルには、1年生全員が参加。貸出図書冊数は、約10%(670冊)増加。</li> </ul>	B ↓ A
2	地域で信頼される高校になってきている。開かれた学校づくりを推進するために、これまで以上に学校の情報を発信し、生徒が地域に貢献していく必要がある。	積極的な情報発信を通して、地域に開かれた学校づくりを推進する。	1 あらゆる機会をとらえて本校のよさを地域へ発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校通信を毎月発行</li> <li>HPを随時更新(特に部活動)</li> <li>県立学校ニュース等への情報提供</li> <li>中学校訪問及び本校への訪問促進</li> <li>学校説明会、土曜公開授業等の活用</li> </ul>	1 本校情報の発信状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会参加者、土曜公開授業来校者増</li> <li>HP部活動更新回数増</li> <li>中学校PTA来校者増</li> <li>外部への情報提供数増</li> <li>本校への志願者増</li> </ul>	1 昨年を大幅に上回る情報を発信し、多くの来校者・本校への理解を得た。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校通信」を毎月発行。全保護者・市内中学校・地域(約150軒)に配布。</li> <li>学校説明会(全7回)参加者は、3860名で昨年比190名増加。土曜公開授業(12回)来校者は3350名で163名増加。</li> <li>HPは、全体で320回更新(197回増加)。部活動については86回更新(80回増加)。</li> <li>中学校PTA来校者は、11校731名で昨年比184名増加。中学校訪問は126校に実施。</li> <li>外部への情報提供数は、52件で20件増加。</li> <li>志願者数594名、入試倍率1.62倍(昨年比36名増、0.1pt増)(3月10日現在)</li> </ul>	A
		体験活動などを通して、地域に貢献できる生徒を育成する。	2 地域と連携した活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と連携し、英語活動等の補助体験</li> <li>斜面林友の会と連携しての活動及び交流</li> <li>通学路清掃ボランティア等の実施</li> <li>部活動を通しての中学校との交流</li> <li>近隣高校との図書委員会交流</li> </ul>	2 ボランティア等の活動状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校交流応募者数増</li> <li>各ボランティア活動への参加人数増</li> <li>中学校との部活動交流回数増</li> <li>図書委員会等の交流会実施数</li> </ul>	2 地域社会への貢献について、生徒の意識は高まっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校交流には、2校21名が参加。応募者は2名増加。新たに英語活動の補助も実施。</li> <li>サッカー部・バスケットボール部等による清掃ボランティアの他に、関東ろう者サッカー競技審判(サッカー部24名)やさいたま国際マラソン給水補助員(女子サッカー部22名)としてボランティア活動に参加。斜面林友の会の保全活動に生徒6名が参加。</li> <li>中学校との部活動は、サッカー部・剣道部・バドミントン部・バスケットボール部等で実施。</li> <li>図書委員会の交流は、6回実施。</li> </ul>	A
3	制服のない学校であるが、整容、挨拶等に改善がみられる。さらに、自ら考え行動できる生徒を育成する必要がある。	部活動、生徒会活動等に積極的に参加し、家庭学習も含めた時間管理など、自ら考え行動できる生徒を育成する。	1 自己管理できる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習、家庭学習の奨励・援助</li> <li>自ら時間管理できる生徒の育成</li> <li>生徒会活動、部活動の充実</li> </ul> 2 グローバル教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリアとの交流</li> <li>グローバル講演会の実施</li> <li>留学生の受入、海外派遣への挑戦</li> </ul>	1 自己管理力の検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>学習時間の2割増(1学年)、朝学習の取組時間増</li> <li>年間遅刻回数1割減</li> <li>部活動加入率95%</li> <li>生徒会活動参加人数増</li> </ul> 2 グローバル教育推進状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>海外派遣人数増</li> <li>異文化交流参加者数増</li> </ul>	1 自己管理できる生徒が確実に増加している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習には、ほとんどの生徒が出席しており、取組は定着している。授業以外の学習時間は、4月当初からは増加しているものの、目標には届いていない。</li> <li>年間遅刻回数は、昨年比50%減。</li> <li>部活動加入率は、96.2%。全国大会に美術部・山岳部が、関東大会に弓道部・テニス部が出場。</li> <li>2 派遣・受入れを合わせ、異文化交流を経験する生徒が増加した。</li> <li>オーストラリア研修に20名を派遣、オーストラリア高校生22名を受入れ。留学生1名を派遣(米)、3名(米・仏・韓)を受入れ。サッカー部員6名をドイツに派遣。</li> <li>3月にグローバル講演会を実施予定。</li> </ul>	A

学校関係者評価	
実施日	平成28年2月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度の高い大学が、良い大学とは限らない。「生徒にあった第一志望の大学学部」合格に向け、進路指導と希望実現への指導の充実に一層努力して欲しい。</li> <li>大学出張講座受講により、大学の授業等の理解が一層深まり、これを契機に自分の希望分野や大学が決まった。(生徒)</li> <li>授業満足度や西高 CAN-DO リスト達成度はすでに高い数値である。さらなる高い数値は難しい。横ばいでも良い。</li> <li>この分野の達成度評価は、記載された数値や状況からAで良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い授業を実践し、生徒の第一志望を実現させるべく、継続して授業改善に取り組んでいく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの取組で、西高に対する理解はかなり深まっている。まず西高を理解して興味を持っていただくことが大切なので、引き続き情報発信の努力や工夫を期待する。</li> <li>地域との交流に、積極的に取り組んでいる。今後、小学校の外国語活動の充実や教科化に向け、学習支援への西高生の更なる積極的な取組を期待したい。</li> <li>様々な機会を捉えて、多くの生徒が小学校交流・部活動交流に積極的に取り組んでいる。</li> <li>生徒たちが、自覚を持ち、高い意識で活動してくれている。</li> <li>数値に現れない西高の良さも大切にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信については、情報量を維持するとともに、更なる質(内容・適時性・ニーズ)の向上を目指す。</li> <li>部活動の生徒だけではなくより多くの生徒が、幅広くボランティア活動等に参加できるよう働きかける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な数値等から、素晴らしい成果をあげている。家庭学習は、時間量ではなく質が第一なので、毎日の授業と家庭学習の関係をいかに持たせるかを含めて、学習方法や内容について授業で生徒に一層指導して欲しい。</li> <li>中学校の正門で立哨指導していると多くの西高生が、挨拶をしてくれる。</li> <li>遅刻回数が、大幅に減少している。生徒間に、遅刻すると朝自習に真剣に取り組んでいる雰囲気壊してしまうという自覚ができてきている。(生徒)</li> <li>全体を通じて、西高が保護者・生徒・地域にとって、一層魅力ある学校になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業以外の自主学習時間をさらに増加させる。</li> <li>生徒会本部役員への立候補者を増加させる。</li> </ul>